

生活困窮者自立支援制度における 就労支援（準備・訓練等） ～千葉の実践から～

NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば
事務局長 鈴木 由美

兼務）社会福祉法人生活クラブ風の村
人事広報部ユニバーサル就労支援課 課長



本日本お伝えしたいこと

日常の実践から提案 3 点：

**【提案 1】 就労準備支援・就労訓練事業の必須事業化
(就労支援全体の一体実施) が必要**

**【提案 2】 幅広い支援領域に対応できる就労支援員
の育成が急務**

【提案 3】 多様なはたらき方を創造する支援が必要

(1) 法人・事業紹介

NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちばとは？



生活クラブ 風の村

- ・千葉県内に80ヶ所近くの事業所（高齢者介護・保育・児童養護・障害者・困窮者相談支援等）を持ち従業員数1700名の法人
- ・地域貢献の一環で「働きづらさを抱える人の就労支援」を自分たちの事業所に受け入れをして支援することからスタート（2006年～）
- ・ステップアップしながら働く「**ユニバーサル就労（中間的就労）**」の仕組みを構築。これまでに約200名が働いている。

生活困窮者自立支援制度の**就労訓練事業のモデルの一つ**となる



ユニバーサル就労ネットワーク

- ・ユニバーサル就労を社会福祉法人だけでなく、広く普及啓発していくために法人格を取得し千葉市中央区で事務所を設置（2015年4月）。
- ・子ども若者～生活困窮者支援まで事業を展開
- ・現在はユニバーサル就労（中間的就労）のプログラム評価や事業改善を実施。全国で実施できるような効果的なユニバーサル就労の方法を研究者と一緒に議論中。

NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば

事業概要

事業内容 (職員総数25名・事務局 千葉市花見川区)

当事者・会社支援	ユニバーサル就労支援 (当事者・事業所)	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサル就労を利用したい当事者と受け入れたい会社のマッチング ・受け入れ企業の開拓 ※風の村以外にも会員企業の支援を一部実施
	千葉市生活自立・仕事相談センター花見川 (自立相談支援機関)	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉市委託事業
	千葉市就労準備支援室 (就労準備支援事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者自立支援制度
	千葉市ひきこもり地域支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉市委託事業
	千葉市子ども・若者総合相談センター	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉市委託事業
その他	自治体コンサル・中間的就労導入支援	ユニバーサル就労導入支援等アドバイザー
	相談員研修事業	生活困窮者等はたらきづらさを抱えた人の支援する相談員研修、ひきこもり支援等の研修
	チャンス創造ファンド	交通費や就労に必要な経費を給付する独自制度
	千葉県生活困窮者自立支援実務者ネットワーク	就労支援部会担当
	調査研究事業	ユニバーサル就労評価指標作り (科研費等)



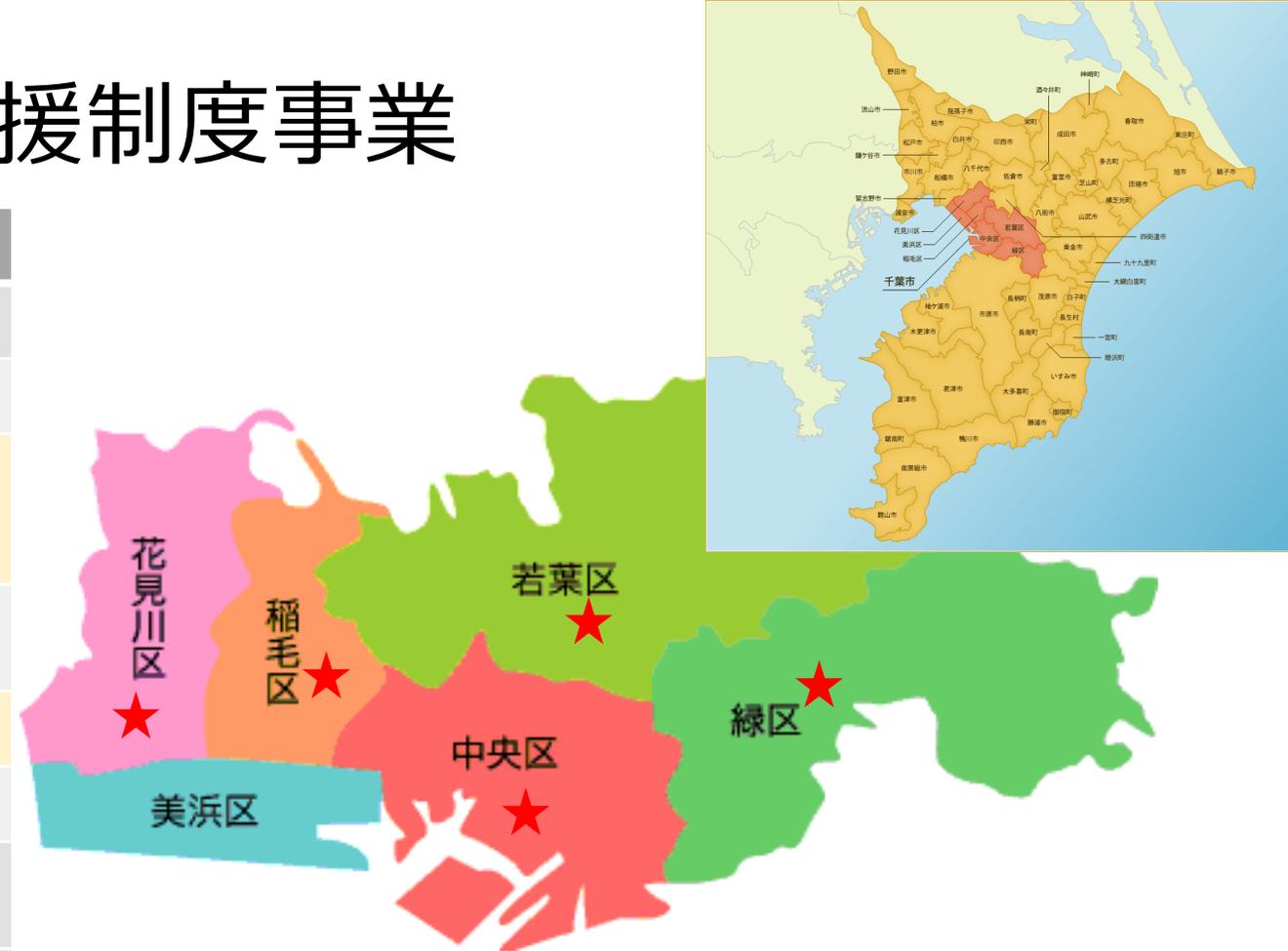
① 千葉市就労準備支援室 基本情報

事業開始	平成27年4月
支援範囲	千葉市全域
職員数	常勤5名、非常勤1名 (キャリア・コンサルタント2名、産業カウンセラー2名、臨床心理士1名) ※非常勤は中間的就労を利用して就労したスタッフ
年間プラン数	令和元年度 138件、令和2年度 146件
その他令和2年度の実績より	就労者数30名、就労体験回数(累計) 212回、相談件数(累計) 1512件 企業開拓件数12件(協力決定数) グループワーク参加者数 178名 個別ワーク参加者数 110名 適性検査実施件数 183回
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間的就労受け入れ事業所を就労準備の短期就労体験先として連携。就労準備利用者から中間的就労へスムーズに移行できる。 ・ 働きづらさに対する自己理解を深めるためのアセスメントツールやグループワークを実施。 ・ 障害への気づき、受容、受診同行等の伴走支援を重要視。 ・ 千葉市ひきこもり地域支援センター、子ども若者総合相談との一体的連携



千葉市の生活困窮者自立支援制度事業

事業	運営者
自立相談（中央）	千葉市社会福祉協議会
自立相談（若葉・稲毛）	労協船橋事業団
自立相談（花見川）	しごとくらしネットワークちば企業体 （ユニバーサル就労ネットワークちば・ 生活クラブ風の村）
自立相談（緑）	つながるネットワークちば企業体 （労協船橋事業団・NPO法人リンク）
就労準備支援事業	ユニバーサル就労ネットワークちば
一時生活支援事業	労協船橋事業団
家計改善支援事業	家計再生応援ネット （街ネット・生活クラブ虹の街）
学習生活支援事業	（株式会社）トライグループ

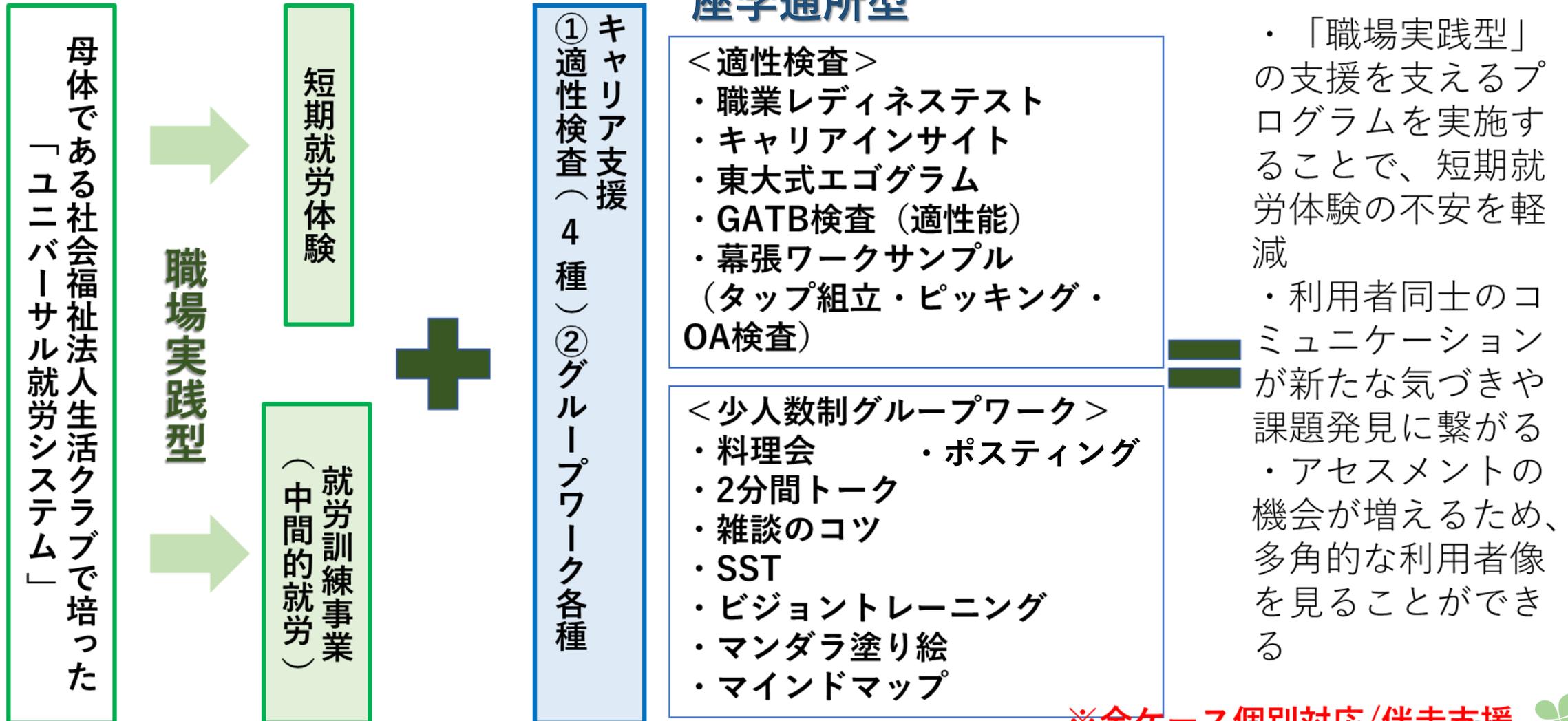


※住居確保給付金は各区の社会援護課が申請窓口

★ = 千葉市生活自立・仕事相談センター
（自立相談支援機関 5ヶ所）

【基本情報】 人口約97万人・被保護世帯16,598世帯、被保護人数は20,876人、保護率は21.4%。保護率の高さは①若葉区②中央区③稲毛区④花見川区…（平成29年）

①-1 支援の特徴



①-1 支援の特徴

【社会・地域への働きかけ】

- ・ 企業開拓
- ・ 就労体験や中間的就労受入企業の確保
- ・ 直接的な職業紹介

等

【本人への働きかけ】

- ・ 本人の自己肯定感や相談をする力、自尊感情の回復、社会参加体験等
- ・ 本人へのエンパワメント的アプローチ
- ・ キャリアカウンセリング、就活支援

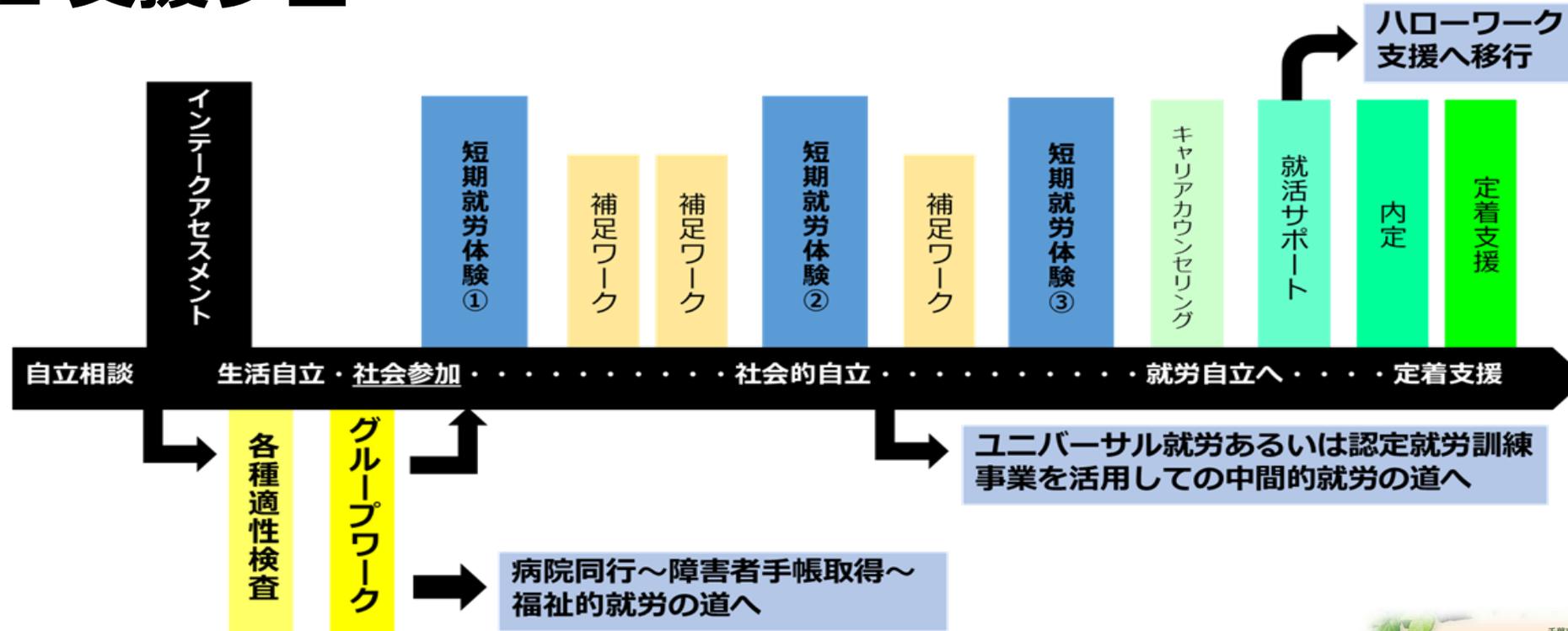
※就労支援は企業開拓に目がいきがちだが、本人に「武器」を持ってもらうことも必要。丁寧なキャリアカウンセリングが求められる。両方をバランスよく実施できるよう点検する。



【情報収集】

- ・ 景気動向/社会情勢
- ・ 毎月の雇用関係の数字
- ・ 県内の雇用情勢
- ・ 法令（労働基準法等）の学習
- ・ 女性の就労環境
- ・ 民間の労働団体等資源の把握等

①-2 支援フロー



千葉県就労準備支援室
 ～ピアかふえ～
 2021. 10. 6(水)
 10:00～12:00
 *「ピア(peer)」とは…直訳すると「仲間、同僚」
 *「かふえ」とは…気軽に集まれる場所

<今回のテーマ>
 今！そして未来に向けて！
【パーソナルリストを作成しよう♪】
 仕事のこと、日常生活のこと…
 自分が「やりたいこと・やりたくないこと」
 じっくりと考えて書き出して整理してみると…
 目標達成へのレールやヒントが見えてくるか

*10:00～10:40頃＝説明・リストアップタイム
 *10:50頃～12:00＝発表会・質疑応答・まとめ

「目」から始める！
 と体をつなげるトレーニング
 10/21(木)
 10:00～12:00
 ハイアッド形式開催

なんだか疲れやすくて集中力が続かない、頭で考えていることが上手く形にできないなど、お仕事だけではなく日常生活のちょっとした動作でもやりづらさや困り感を感じたことはありませんか。
 ミスが多い気がする、道に迷いやすい、部屋がちんかちんなどの悩みはもしかしたら「目」の運動不足かもしれません。

目の運動と、情報を指先や手に伝えるトレーニングを行うと、脳が活発に動くようになります。
 集中力を上げたり、慢性的な頭痛・記憶力の低下、体の動きのすばやさや上げるといった効果があります。
 お仕事や日常生活に生かせる簡単なトレーニングと一緒にやりませんか。

千葉県就労準備支援室
 こころ
 リラックス
 心理学を使ってやさしくアプローチ
 2021.10.28.木 10:00～12:00
 開催場所：千葉県民活動支援センター（ちばさほ） 会議室
 & ZOOM（オンライン）

部制
 どんな参加方法でもOK！
 例 1部参加、2部見学
 1部3部ともに見学可

参考資料：職業適性検査について

検査名	内容
職業レディネス・テスト（VRT）	自分の職業の興味関心の傾向を知る検査。検査結果をワークシートに書き込んでいくので、結果が分かりやすい。就労経験ない人や若者に。
キャリア・インサイト	上記の興味関心の検査と同時に、適性検査がある。就労経験がある人の振り返りとして、また過去の職業エピソードを掘り起こすツールとして。
幕張ワーク・サンプル （プラグ・タップ組み立て検査/OA検査 /ピッキング（29年から）	本来は障害者職業センターで活用されるものだが、健常者でも利用が可能であることと、実際に作業しながら能力を見ることができる。自然観察法。GATBとのあわせ技で説得力が出る。
GATB検査（一般職業適性検査）	9つの「適性能（知的能力、言語能力、数理能力、書記的知覚、空間判断力、形態知覚、運動共応、指先の器用さ、手腕の器用さ）」を測定。客観的に能力を測ることができ、能力の差をはかりやすい。信頼度が高い。

- （1）社会経験や就労経験が極端に少ないため、自己理解ができていない当事者が急増。何をやりたいのか、何に興味があるのか、自分はどこまでできるのかといったことをきちんと把握し、これからどうやって行動していく参考や支援方針を作成する指標として適性検査を導入した。
- （2）知的・発達障害ボーダーと思われる当事者の増加

①-3 企業開拓について

【方法】

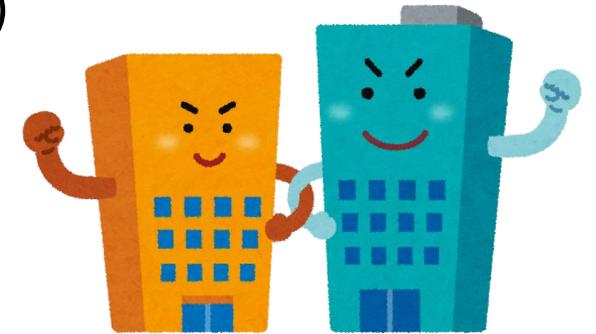
①人づて（紹介）・口コミ

②セミナー方式

（参考）千葉市中間的就労 企業・法人向け説明会（動画あり）

③企業団体とのネットワーク

④ハローワークの求人から営業



【参入しやすい業界】…1社でも事例を作ることによって営業が広がる

- ・ 社会福祉法人等が経営する福祉施設（winwinが成立しやすい）
- ・ 障害者雇用を導入したい、すでに行っている事業所



企業とのネットワークについて

- 研究会を開催し、顔の見える関係作り
- 説明会開催時には、アンケートを回収し、その後の訪問のきっかけとする
- 中小企業家同友会の会員になり、障害者問題委員会での活動に参加する。
- 県内生活困窮者実務者ネットワークの就労部会での活動

令和元年度

千葉市中間的就労企業・法人向け説明会

12月19日(木) 14:00~16:30

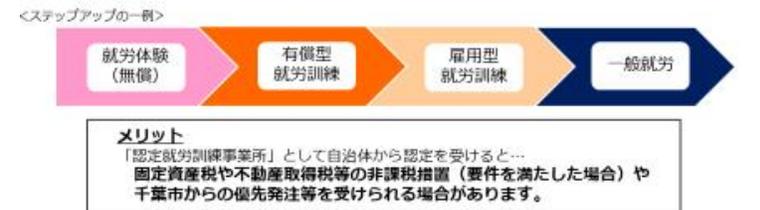
会場 千葉市美浜保健福祉センター 4階 大会議室

主催：千葉市・特定非営利活動法人ユニバーサル就労ネットワーク
後援：千葉県中小企業家同友会

「働きたい人の悩み」×「企業の協力」
＝新しいカタチの雇用創出

中間的就労（認定就労訓練事業）とは…

「働きたいけれど空白があって不安」「家庭の事情で短時間からしか働けない」など様々な事情をお持ちの『働きたい意欲』のある方をマッチングし、一般就労へ向けてゆるやかにステップアップしていく働き方です。平成27年度より認定就労訓練事業として制度化され、自治体の認定を受けることで各事業所様での実施が可能で



説明会では、中間的就労（認定就労訓練事業）の仕組みの説明のほか、各分野で既に導入を進められている事業所の方々に事例紹介をしていただきながら、具体的な導入イメージを持っていただきたいと思います。ぜひ、この機会にご参加ください！

※参考 就労訓練事業に関するパンフレットは以下、厚生労働省のホームページ（下欄）からダウンロードできます。
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsate/bunys/0008073432.html>

第2回 NPO ユニバーサル就労ネットワークちば 人と会社をつなぐ就労支援研究会

■開催趣旨■
2015年生活困窮者自立支援事業開始当初から、就労準備支援事業、様々なたらきづらいの方の就労支援に取り組んで参りました。私達が就労支援をする就労に困難をかかえている人は、全世代にわたって、ひきこもりであったり、高齢者世帯の就労、偏見等からの社会的な孤立、障害グレーゾーン等その働きづらさの理由は様々です。しかし、そういう人たちは、きめ細かい伴走型の就労支援によって、働くことによる社会自立を果たすことができるとともに、人手不足状態にある企業の戦力になりえることも実感しています。この研究会は、働く側、雇用側、行政などが顔を合わせて意見交換し、地域社会の就労、雇用の活性化を進め、多方面の方々による就労支援体制の構築を目指します。つきましては、就労支援を実施している就労支援機関、障害者就労支援機関等支援者、行政担当者、企業担当者、経営団体等で任意の研究会「人と会社をつなぐ就労支援研究会」を開催します。千葉市の協力も得ながら、就労支援に関わる人にとって次回も参加したい研究会となるような企画を立案し、少人数からでも思いのある関係者の出合いの場とします。ゲストスピーカーの働きやすい職場づくりや採用に工夫をしている会社や支援側の就労支援や定着支援のための工夫などの様々な事例紹介、またあるテーマについて自由に討議する等、色々な角度から自由に意見交換する研究会とします。第2回のゲストスピーカーは、千葉県中小企業家同友会で障害者雇用等の理解促進を同友会で実践されている株式会社協同工芸社の代表取締役社長其輪昇氏をお招きします。同友会での実践報告や企業から見て働きづらい方々と働くことについて率直な意見交換などを実施できればと考えております。

第2回 開催要項

■日時：2020年 1月9日(木)18時~20時

■対象：千葉市及びその周辺の就労支援機関・生活困窮者支援機関・障害者就労支援機関等支援者・行政担当者・企業担当者・経営団体等

■会場：千葉市総合保健医療センター4階 会議室
千葉市美浜区幸町1-3-9

アクセス
<電車をご利用の場合> JR京葉線「千葉みなと」駅下車徒歩5分
モノレール「千葉みなと」駅下車徒歩5分
<バスをご利用の場合> JR総武線千葉駅から「千葉みなと」バス停下車徒歩5分

参加申込・お問い合わせ
特定非営利活動法人ユニバーサル就労ネットワークちば
TEL 043-306-2564 / FAX 043-306-2574
千葉市中央区3-9-9 エレル千葉中央ビル304

①-4 定着支援

- メール、電話で様子を聞く
- 面談をする
- 必要に応じてSST等のワークへ誘う
- OB会の案内

→コロナで中断中。徐々に再開予定

千葉市就労準備支援室
OB会

2020.1.31 (金)
18:00~19:30

今月のテーマ
~こたつではっこりお鍋 お話会~

働き始めた皆さん、お元気ですか？
働き始めて楽しかったこと、嬉しかったこと、やりがいを感じること、
大変だなと感じたこと、困ったこと、働いてみてわかった悩みなどなど…
働き始めて感じたことをみんなで話しませんか？
みんなでお鍋をつつきながらまったり新年会をしましょう。

参加費
300円

場 所
ユニバーサル就労ネットワークちば 本部事務所
千葉県花見川区幕張本郷2-5-1 タカソープラザ405

【お問合せ】 千葉市就労準備室 (ユニバーサル就労ネットワークちば)
TEL. 043-306-2564 FAX. 043-306-2574

①-5 チャンス創造ファンド（独自）

○就労支援や就労するまでの経費の給付

…交通費

○支援場所や面接会場に行く費用

…経費

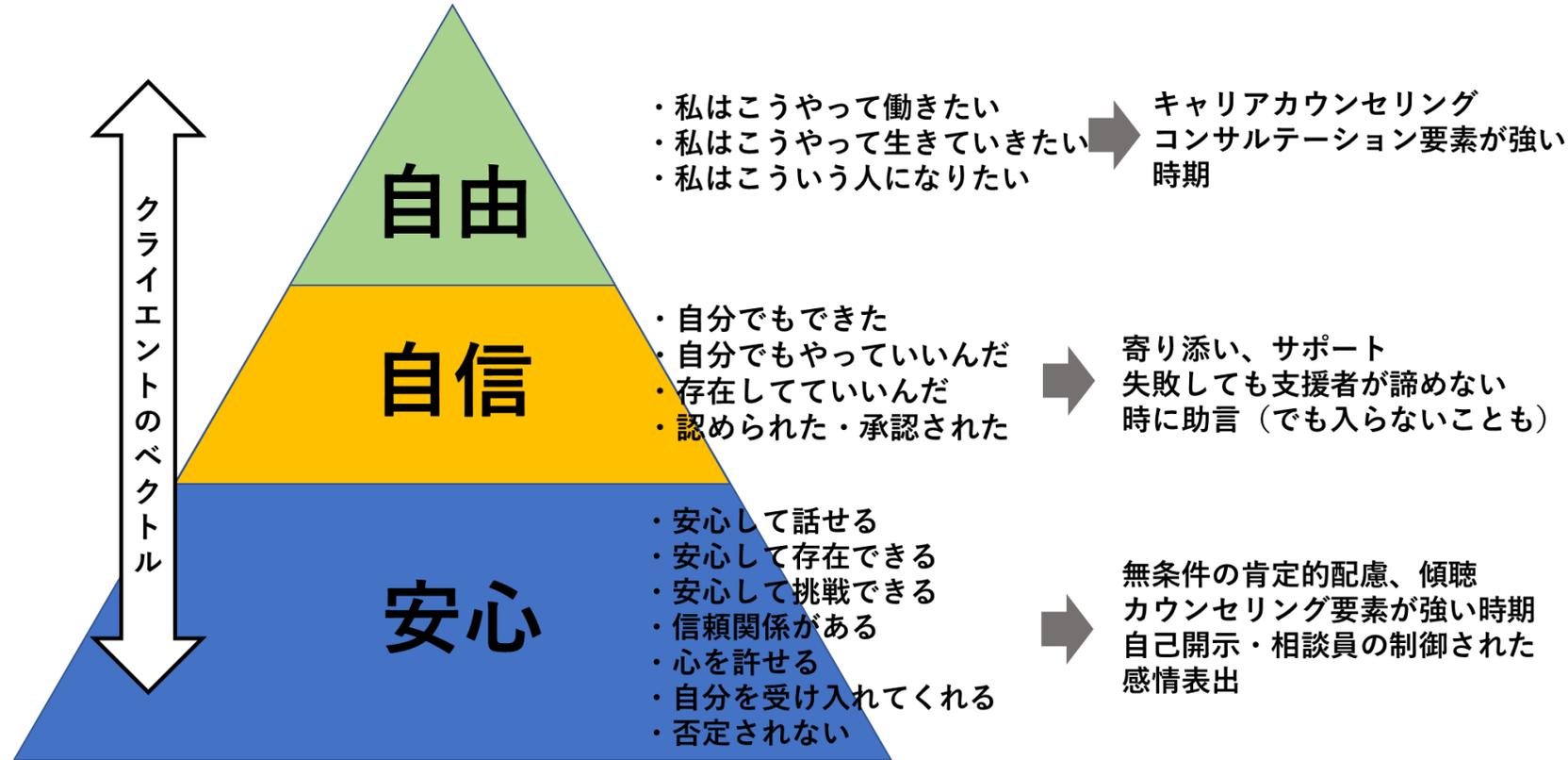
○スーツや面接用の服装、化粧品、かばんや靴、作業着や長靴などの仕事用の服

…手数料

○障害者手帳取得のための診断書費用、健康診断

・ひとり最大約15万円まで支給可能。実績ベースだとおおよそ一人4万円が最大。年間で20万円程度の前資で実施可能。

(参考) 本人の自立を支える部分に寄り添う支援 ～伴走型/エンパワメント型～

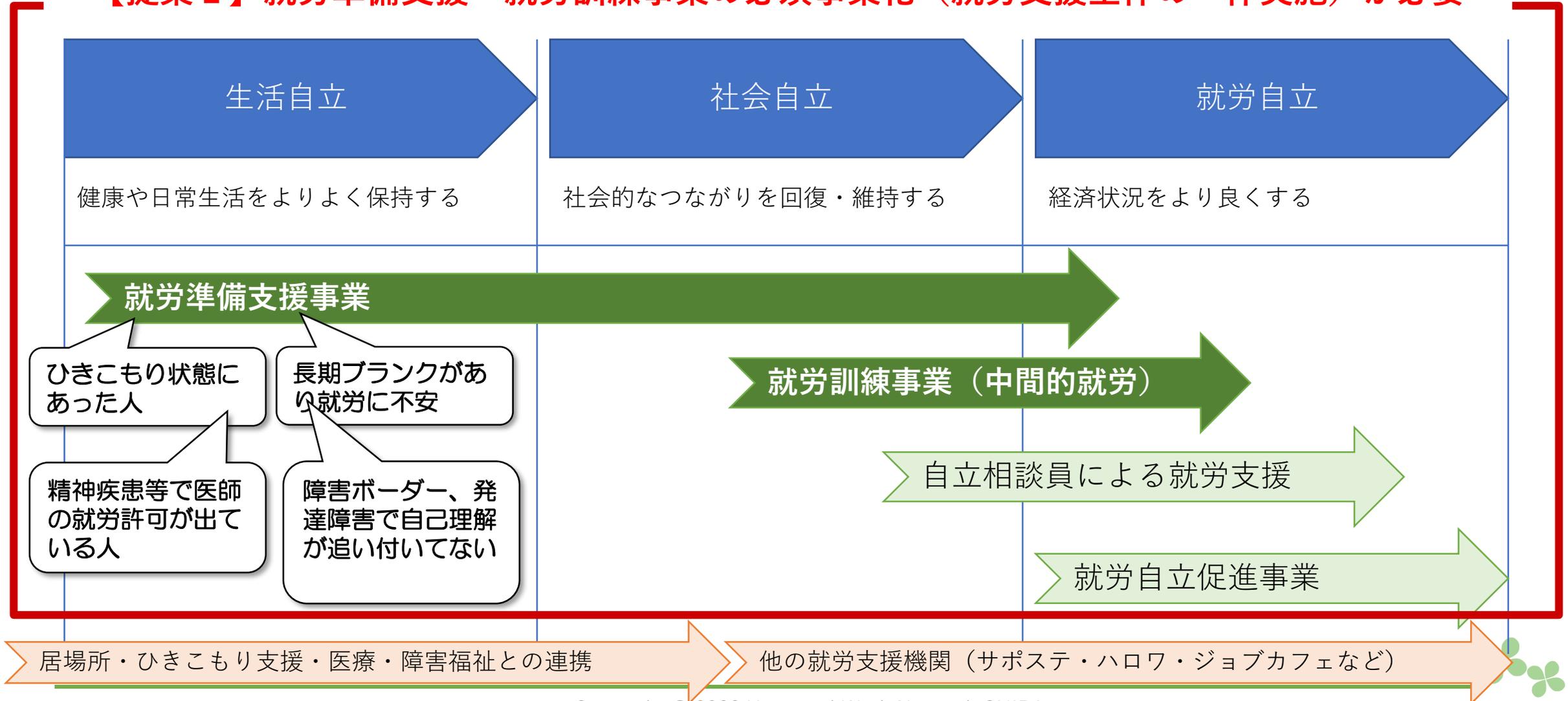


○本人の状態や人物像に応じて、自分の役割を変えられる存在。そのためには本人が今どの段階にいるのか適切なアセスメントが不可欠

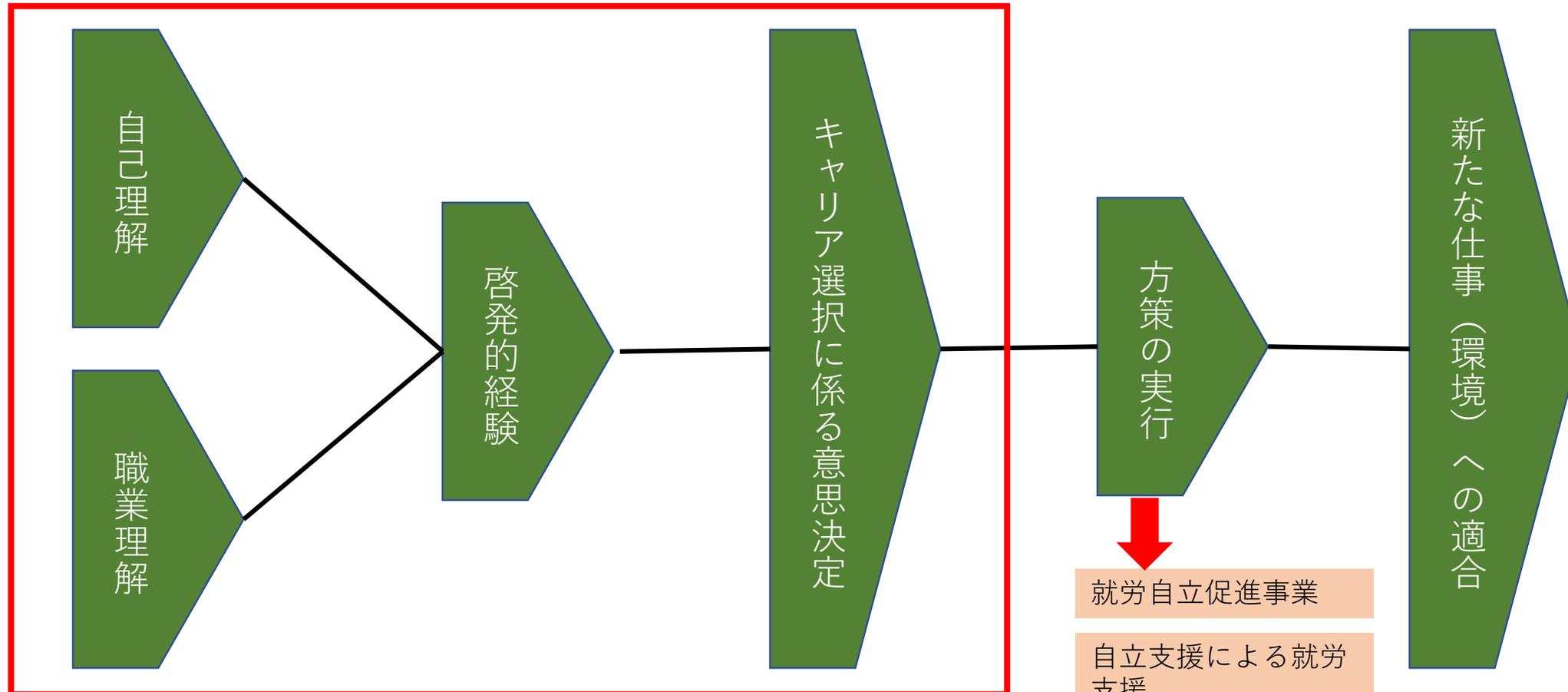
○目に見える課題のみならず、本人の内面的な変化を重視する支援

生活困窮者の就労支援領域と支援スタイル

【提案1】 就労準備支援・就労訓練事業の必須事業化（就労支援全体の一体実施）が必要



<支援の捉え方> キャリアコンサルティングの流れと困窮者支援事業



この部分を就労準備支援事業や就労訓練事業が担っている自治体が多い
 =未実施自治体はこの部分がないため、効果的な就労支援は難しい。
 かつ対象像が一般的なキャリア支援とは異なるため、当事者理解も必要。

就労自立促進事業

自立支援による就労支援

他機関との連携による就労支援



【提案2】 幅広い支援領域に対応できる就労支援員の育成が急務

創意工夫・独自展開へ

< 支援メニューの開発 >

- ・ 当事者のニーズを整理し、プログラムを企画・体系化
- ・ 周知や広報ツールの作成
- ・ 評価や振り返りからプログラムの改善
- ・ 地域資源との差別化
- ・ 支援の強みの整理

< 企業開拓や地域づくり >

- ・ 地域の口コミや経営団体におもむいての営業や先進事例を参考にした戦略立案
- ・ 営業ツールの作成
- ・ 説明会や戸別訪問の実施
- ・ 中間的就労の当事者、事業所双方の支援手法の研修

< 支援の土台・基礎 >…主に相談員自身のことや当事者の個別支援

- ・ 相談員としての価値や当事者を見つめる視点・人としての態度
- ・ 当事者を取り巻く社会情勢や生きてきた時代を知る
- ・ アセスメント技術や相談技術といったスキル面
- ・ 企業開拓や交渉のやり取り、会社で働くことがどういうことか（当事者の視点だけに偏らない立場）
- ・ キャリアカウンセリングの基本（福祉の相談とは少し立ち位置が変わる）
- ・ 障害福祉の視点からの就労支援の基本
- ・ 制度理念や事業についての理解（特に就労準備支援事業…ニーズの把握や潜在利用者を見つけるアウトリーチ等）
- ・ メンタルヘルスの理解（当事者との距離や相談の構造化等） などなど

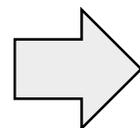
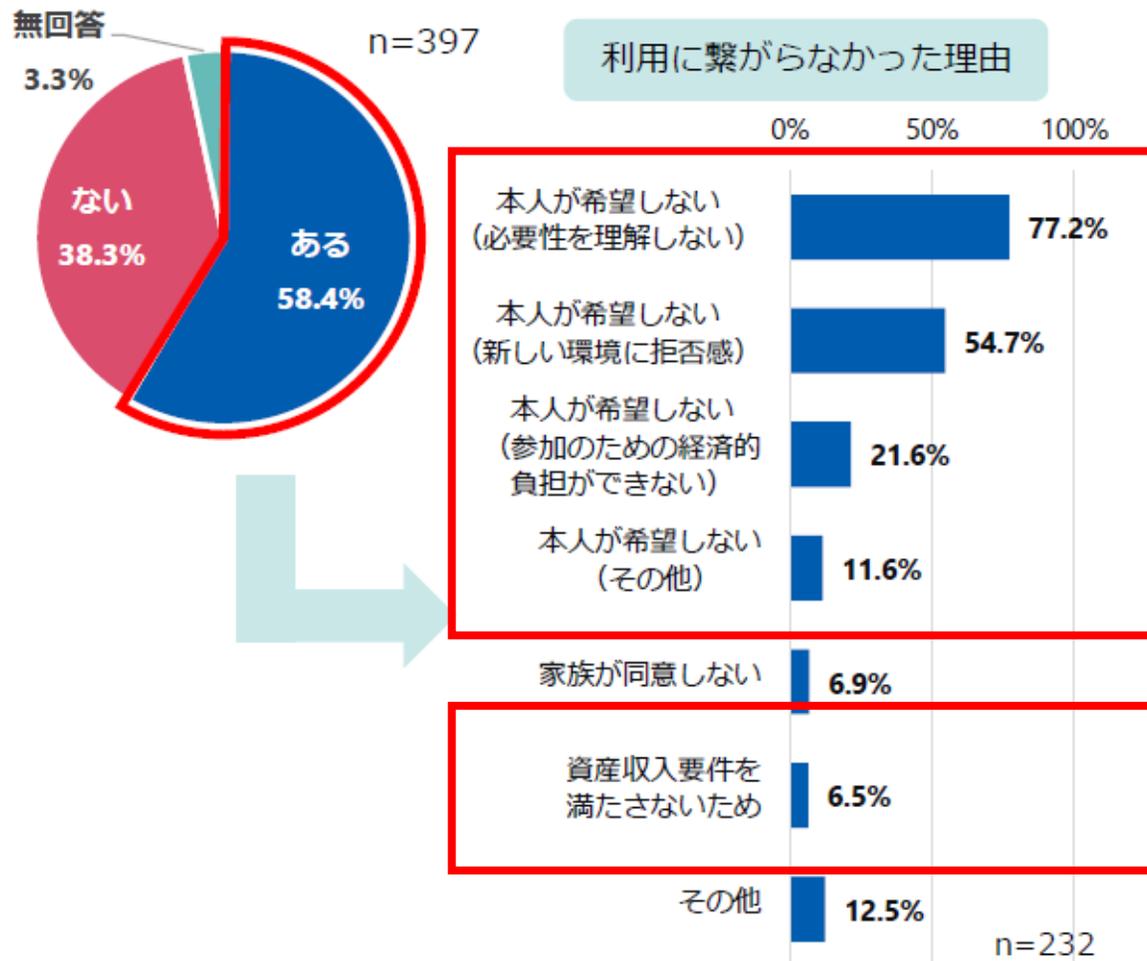
・ 就労支援としての基礎研修の強化が必要

・ 特に就労準備支援事業の部分については、支援員との信頼関係が支援の始まりのため、土台固めは大切。

・ 就労準備支援事業の具体的なイメージが定まらず、やる意義を見いだせないところも少なくない。

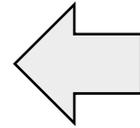
・ 定期的な外部SV・コンサル機能の拡充の後押しが必要

就労準備支援事業の利用が適切と考えられたが、
利用につながらなかったケースの有無とその理由



・このつながりづらさを支援に繋げていくことがそもそも就労準備支援員の大事な役割

・「必要性を理解できるように」にコミュニケーションを取れているのか？
振り返りが必要なのでは？



・そもそも制度の趣旨を理解しているか？
このような解釈をされ、利用できなくなる人が増えるなら、収入要件は撤廃したほうが良い。



中間的就労の実践 ユニバーサル就労(UW)とは…

<理念>

① 「はたらきたいのに、はたらきにくいすべての人」が働けるような仕組みを作ると同時に、誰にとっても働きやすく、働きがいのある職場環境づくりを目指していく取り組みです。

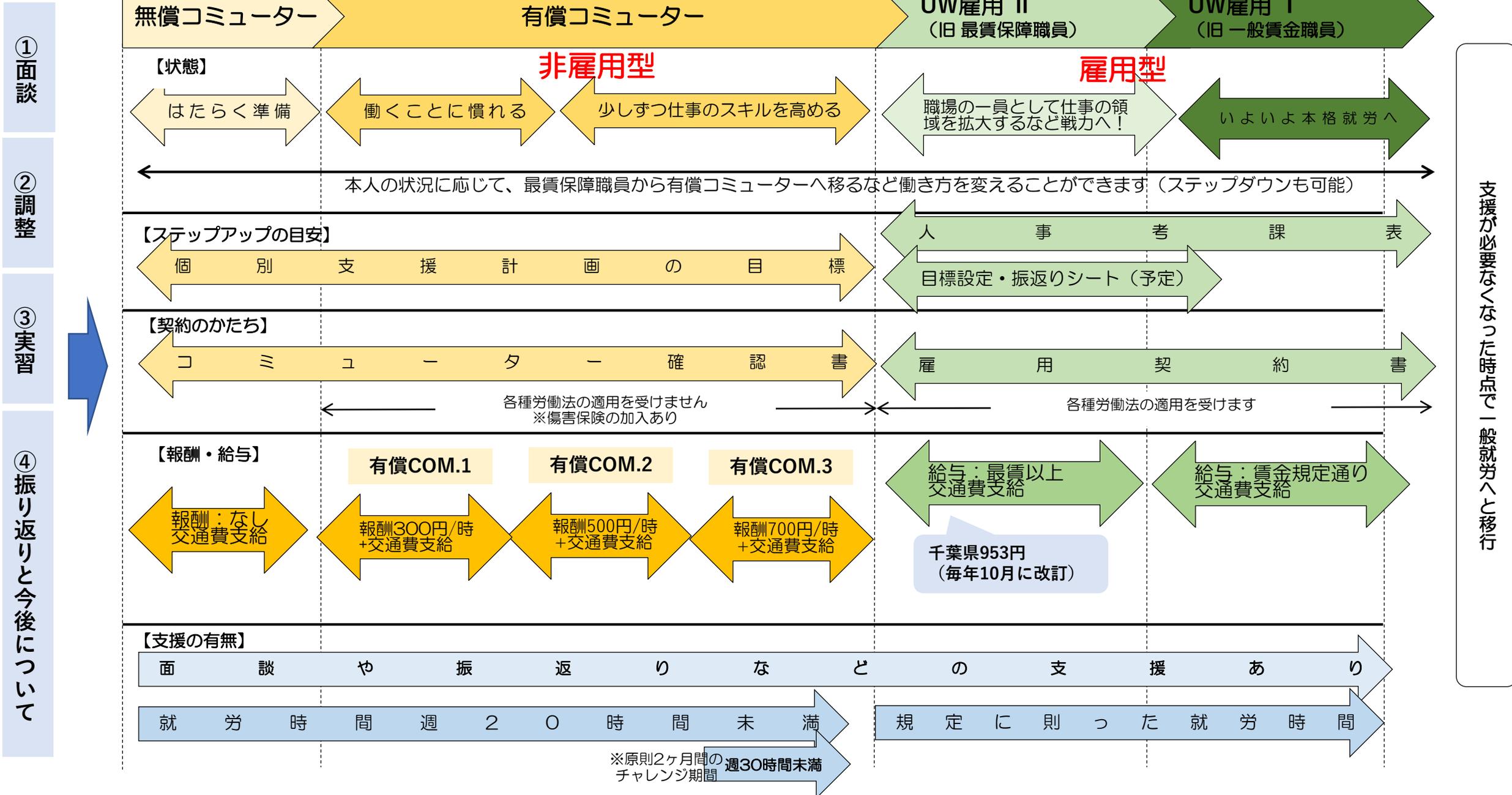
そして、② より多くの人が、その人なりの働き方で社会参加できるユニバーサルな地域社会づくりを目指しています。地域社会の中で、自分なりの働き方で「わたしたちは会社ではたらいています」と実感できるシステムです。

ユニバーサル就労の理念を実現する 具体的な仕組み（システム）

<特徴>

- ①対象者を限定しない
- ②スライド式の就労ステージを構築
- ③業務分解
- ④外部支援者とのチームによる定着支援

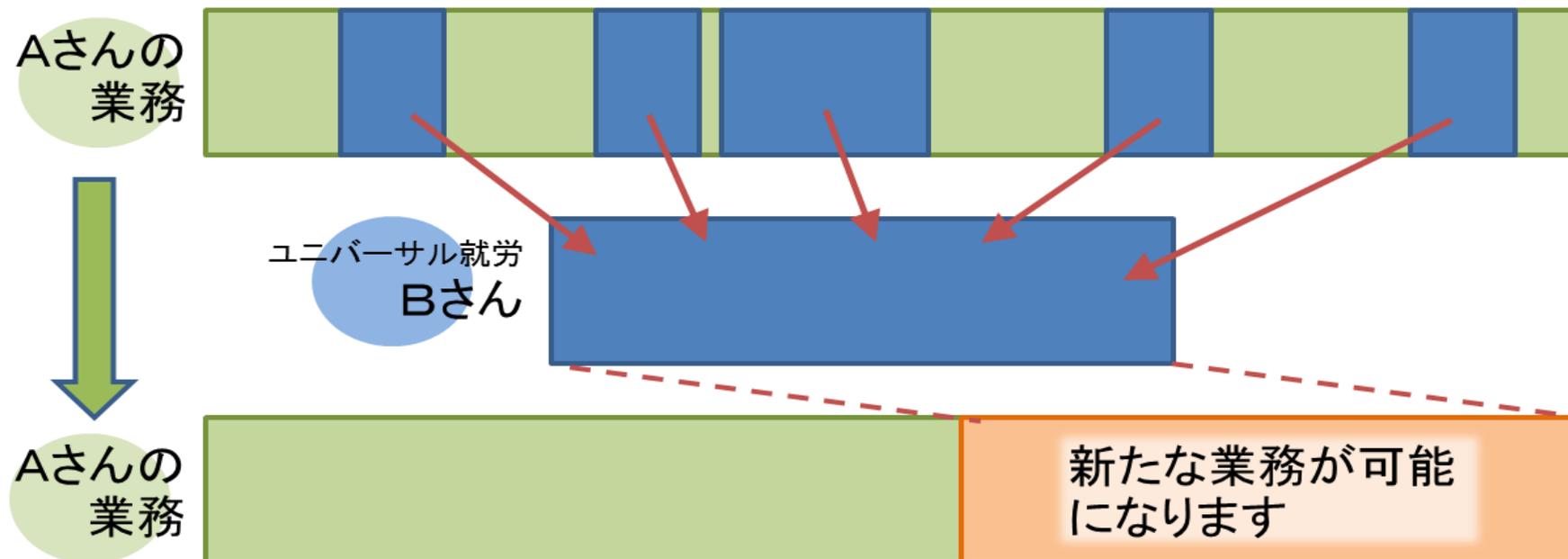
<特徴② スライド式のユニバーサル就労（中間的就労）システム>



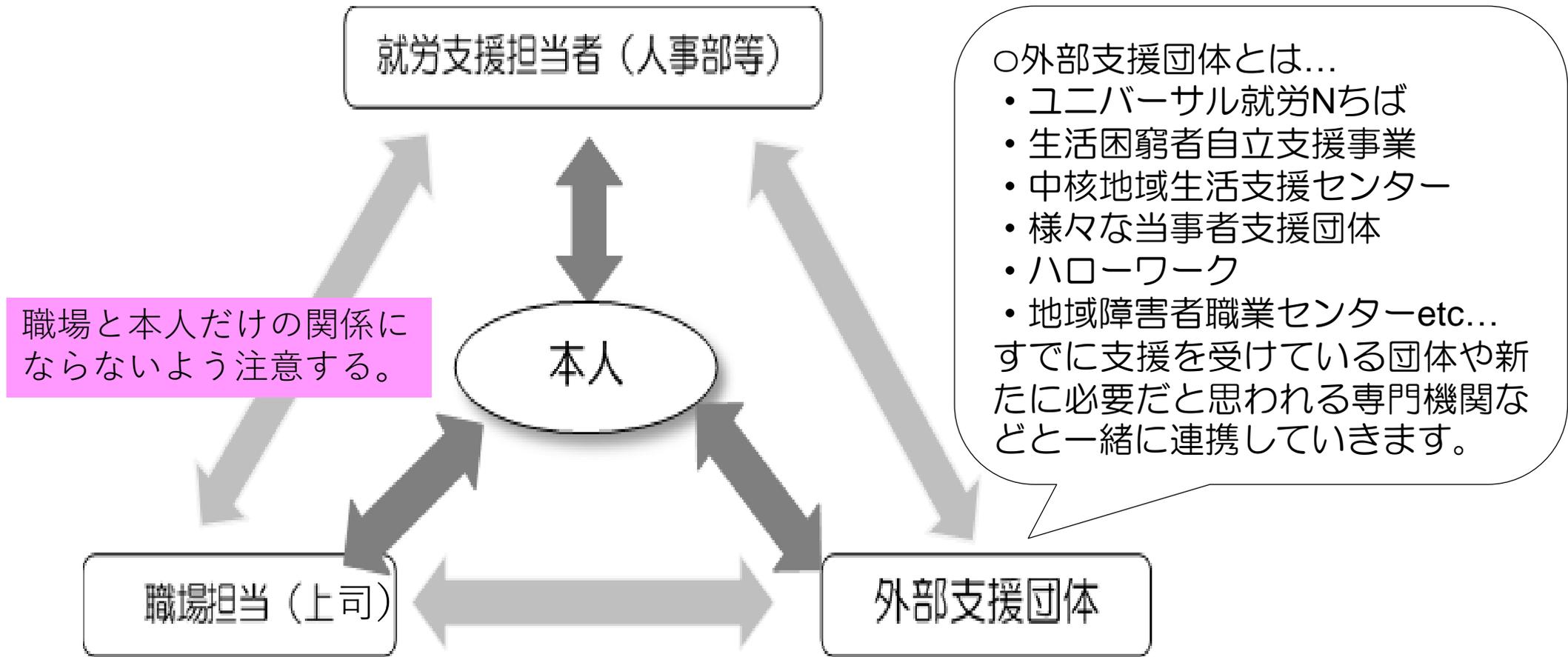
特徴③業務分解（業務の切り出し）

本人の強みを生かし、職場の戦力となるために

- ・業務分解を実施し、本人が得意なことやできることを任せていくことで、本人も職場の人にとっても働きやすい環境づくりを行うことができる。
- ・業務分解はメンタルダウンした社員が即退職に追い込まれないための復職支援プログラムとしても活用ができる。



特徴④外部支援者とのチームによる定着支援



【提案3】多様なはたらき方を創造する支援が必要

- 一般の労働市場から排除されている人を労働市場に戻そうとするのはもはや限界があり、当事者にとっては絶望感しかない。→そこに押し戻そうとする支援でいいのか？現場は行き詰まっている。
- はたらきづらさは手帳の有無だけではかれなくなっている。グレーゾーンの人たちを受け止める社会資源が失われている。はたらきづらさはどんどんグラデーションゾーンが広がっている。
- 雇用市場に空いている隙間はどんどん大きくなっているが、制度はいつまでも変わらない。

将来を決定する選択肢

障害者就労

障害福祉サービス利用

中間的就労の活用

一般就労



・就労訓練事業（中間的就労）から新しい働き方と社会変革を。

- (1) 事業化して支援員（就労支援員）を配置する
- (2) 当事者支援・企業への導入支援ができる人材を育成する
- (3) 定着するまでは企業へのインセンティブが必要

…将来的には「社会貢献」や「ご協力のお願ひ」ではなく企業の経営戦略のひとつとして位置づけられるように発展させていきたい。

★特開金の活用の可能性★

令和4年5月30日の要件緩和はひとつのチャンス

…生活困窮者支援の自立支援や就労準備・就労訓練事業、被保護者支援の就労支援、就労準備支援事業での受給が可能となった！